

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【カンボジア事務所】 Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu.
Kingdom of Cambodia
電話 (855) 12-519-114 (855) 12-946-483

【ホームページ】 AAC21

【公式ブログ】

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



アンコールワット

発行日 2012年（平成24年）9月1日

第66号

（年6回発行）
（奇数月発行）

マンモス中学校に大型井戸を寄贈

◀贈呈式には千人以上の生徒が参加



▼完成した大型井戸

七月七日、第二十一回カンボジアふれあいの旅の一行がカンボジア・カンダール州の「セレイモンコル中学校」(生徒数二千七十二名)を訪問、マンモス中学校に相応しい大型井戸の贈呈式を行なった。鈴木千雄さん(愛知県あま市・里親会員)が建設資金を提供してくれた。大型井戸には蛇口が八つあって、一度に大勢の生徒が利用でき、とても便利と好評だ。生徒たちがサッカーなどで汗をかいた後のシャワーもつけた。タンクの下は倉庫になっている。

ふれあいの旅でカンボジア・プノンペンを訪問中、東南アジア諸国連合(ASEAN)の会合が開かれていた。開催した国際会議場が宿泊したホテルに近いので、道路規制が多くて大変だった。日米中韓の外相ら

成長の影にかくれた貧農の子どもたちに光を

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

プノンペンでは、十九年前、カンボジアで国連ボランティアとして活動中、武装集団に殺害された中田厚仁さん(当時二十五歳)の慰霊碑に献花された。一昔前、内戦に明け暮れ国内のこ

その二週間前には、日本の皇太子殿下がカンボジアを親善訪問された。大なものである。ODA(政府から

ASEANの会合が開かれたプノンペン市内の国際会議場



ASEANの会合が開かれたプノンペン市内の国際会議場

ASEANの会合が開かれたプノンペン市内の国際会議場

ASEANの会合が開かれたプノンペン市内の国際会議場



訪問先の小学校で学用品を配布する木村恵美子さん

第二十一回カンボジアふれあいの旅に七人参加

第二十一回「カンボジアふれあいの旅」が七月四日〜十日に行なわれ、七人の会員さんが参加してくれた。初参加は三人。



手芸を教える吉澤静子さん

四人の会員さんが夢ホームでボランティア活動

七月六日〜十五日、本会が経営する児童養護施設「夢ホーム」に日本から四人の会員さんが長期滞在し、ボランティア活動してくれた。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



勉強するカンボジアの子どもたち

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月2500円×12ヵ月)のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地でも暮らし里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金(税金)は一切いただいておりません。



生徒を指導する榎戸徹彦さん

日本宝飾クラフト学院（本校＝東京都台東区）の専任講師を務め、自宅にも工房を持つ榎戸徹彦さん（横浜市・里親会員）が、本会がカンボジアのコンボンスプー県で運営する児童養護施設「夢ホーム」内に工房を作り、子どもたちの自活を目指して、鑄造によるアクセサリ作りの技術を指導している。

七月九日～十三日、第八回目の講習会を開催した。

今回の講習会では、前回の講習会から参加した四人の生徒がハスの花のペンダント作り、最初から参加している三人の生徒は椰子のペンダント作りを行った。第一期生（三人）の技術が上達したので、シエムリアップにあるカンボジア雑貨店「クマエユーン」での販売を予定している。次回の講習会は、十一月になる予定。

第八回「鑄造によるアクセサリ作り技術講習会」(夢ホーム)



立派なバケツができました

七月二日～四日、鈴木千雄さん（愛知県あま市・里親会員）が夢ホーム内の職業訓練棟で第十二回「もの作り技術講習会」を開催、夢ホームや近所の中学生ら八人が参加した。今回はバケツ作りに挑戦、立派な製品に仕上がった。

カンボジア経済は高度成長期を迎えており、プノンペンなどの都市はビル建設のラッシュ。建設工事にはタクトなどの板金加工技術が必要で、将来のプロ板金加工技術者の育成を目指し、訓練に励んでいる。

次回（十三回）の講習会は、九月四日～六日を予定している。

第十二回「もの作り技術講習会」開催(夢ホーム)

7月はカンボジアの小・中学校に3基の井戸が完成

7月は、三つの小・中学校に井戸を寄贈した。7月7日、ふれあいの旅の参加者が出席して、二つの学校で贈呈式を行なった。井戸を寄贈した木村文春・恵美子夫妻も式に出席、子どもたちにあいさつした。（ネームプレートは会社名＝有限会社スピードテック）

手押しポンプ式井戸は1基16万円（ネームプレート付き）で完成する。井戸の設置を希望する学校の選定から完成に至るまで、本会の現地スタッフが責任を持って遂行する。



井戸を寄贈した木村さんご夫妻

7月に完成した井戸の内訳			
ネームプレートに記されたお名前など	学校名	生徒数	学校の所在地
① 鈴木千雄様	セレイモンコル小学校	2,072人	カンダール県モックムアル郡
② 有限会社 スピードテック様	テムチョレイ小学校	315人	カンダール県モックムアル郡
③ 国際ソロプチミスト石巻 会員一同	ソーセン小学校	200人	コンボンスプー県プレイチュ郡

※通算の井戸設置数（2003年～）＝211基（7月現在）

児童養護施設《夢ホーム》日記

ふれあいの旅の皆さんが訪問



ふれあいの旅、夢ホームボランティアの皆さんと

7月9日、第21回カンボジアふれあいの旅一行が「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流した。子どもたちは、覚えてたの歌を日本語で歌ってくれた。子どもたちと一緒に、昼食をいただいた。

お米をたくさんいただきました



お米を沢山ありがとうございました

7月も、多くの方よりお米をいただきました。夢ホームでは、一日で10キロのお米を消費するので、お米はありがたい贈り物だ。カンボジアのお米は50キロ袋入りが約3000円で買うことができる。

＊お米を寄贈してくださった方々（敬称略）

園田健次・美代子夫妻、平古場正行、廣川恵美子、阿部峰子、吉澤静子

図書館にパソコンコーナーを設置



パソコンを指導する三林けい子さん

日本から寄贈のあったノートパソコンは、今まで、中学生を中心に各部屋で使用していたが、遅くまで使用して生活に支障が生じるがあった。そこで、夢ホームに滞在中の三林けい子さんの指導により、図書館の一角にパソコンコーナーを設置した。

＊児童養護施設《夢ホーム》は両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活の場として、会員の皆様のご厚意により、2009年1月に建物が完成、同年3月に開園しました。現在、5歳から15歳までの20人の子どもたちが入園、近所の小・中学校へ通学しています。

佃井副理事長、夢ホームの里子に会う



シーノン君とその家族に面会

「カンボジアふれあいの旅」に参加した佃井庸八さん（群馬県・里親会員）は、「夢ホーム」にいる里子（ニン・シーノン君）に会い、たまたま面会にきていた母親にも会った。シーノン君は現在中学三年生、高校入試めざして勉強中。

正面の塀をペンキ塗装



とてもきれいになりました

夢ホームの正面の塀のペンキが剥がれて見た目が悪いため、このほど、「お年玉募金」を使い黄色いペンキを塗装、とてもきれいになった。

■雨季が始まり田植えが終わる

カンボジアの雨季は五月～十一月。農村では田植えが終わる、雨季が終り、十一月頃から稲刈りが始まる。農業用水のない地方では雨頼み、一年一回の収穫だ。



田舎では、夕飯のおかず探しは子どもたちのお役目。姉妹とおぼしき女の子が田んぼでタニシのような貝を獲っていた。男の子は蛙を獲るのが役目という。

■危険なアルバイト②

プノンペン市内走行中（朝）信号で停まっていたら、車椅子の男性が寄ってきて、車にぶら下げる花を買ってくれと言ってきた。香りがよいので一つ買ったが狭い道路での危険な商売だ。夕方、同じ場所を通ったら、まだ売っていた。



今日のおかずは何かな？

投稿 ボランティアに参加して思うこと 今 紀子

私がボランティアツアーに参加させていだいてから十年以上経ちました。初めの頃は、川の上にかけてられた板で作ったガタガタの橋を歩いて渡り、そこから車がソロソロ渡って来る。田舎の子供たちに学用品を届けに行った時、雨でそれ以上車が進めなくなり、校長先生が牛車で学用品を受け取りに来るなどということもありました。

個人的には、田舎で出された食べ物食べて、体中、上も下もてんやわんやの大騒ぎになったこともあります。少しづつ会員が増え、強力な協力者も現れて、それもみな根岸理事長の人柄のたまものとうれしく思っております。

私自身は、ツアーに参加するだけで、特にこれという程の活動はしていませんので「ソロソロ足を洗おうかなあ」と思っていました。そんな時、二人の友人が里親になりました。私は里子を持って



カンボジアの子どもたち

いませんが、何回か里子訪問に参加して感じたことを率直に述べさせていただきます。

里親に「学用品が欲しい」と言う子供がいます。毎月の教育援助金でまかなえないのだろうか。「自転車が必要」と言う子供にはその場で財布からお金を出そうとする人がいます。他の会員さんが事務所を通してあげた方がいいですよ、とアドバイスしていました。

ある子供は「土地が欲しい」と言っていました。

私は里親になった友人に厳命しました。決して「何か欲しい物があるか」と聞かないこと。子供が欲しいと言ったら、毎月の手当の中から少しずつ積み立てて、自分の努力で買うように諭しなさい。いつかは支援金も打ち切られる。その時のために「お金」の大切さを教えてあげるのも里親の務めですよ、と。

（東京都・会員）

危険なアルバイト①

トンレサップ湖クルーズ船に、たらいに乗った女の子が寄ってきた。珍しいので写真を撮った。一ドル請求された。危険な商売だが、小遣い稼ぎにはなるようだ。



練馬区NPOパネル展に出展



里親募集のPRを中心に展示した日、東京都練馬区役所のロビーで、区内NPO団体の活動を紹介します「NPOパネル展」が開催され、本会も出展しました。練馬区内には約二百のNPO法人があるが、そのうち十数団体が出展した。会報やチラシも配布し、有意義な広報活動だった。

里子家庭訪問記録

名前: ボラー・スレイネアン	学校名: プレイトム小学校	
年齢: 10歳	学年: 小学校の4年生	性別: 女の子
住んでいる場所: コンブンスプー県 ウドン郡 ヨットサマキコミュニティ		
学校までの所要時間: 徒歩で25分		
好きな教科: 国語 (特に書き取りが好きです。)		
苦手な教科: 算数 (特に掛け算の計算式を解くのが、難しいです。)		
担任から一言: 成績: 道徳A 学校の活動A 健康A 出席A		
家庭状況: 3人の兄弟がいます。お兄さん1人、お姉さん1人、ボラー・スレイネアンちゃんは第3子です。父親は別の女の人と結婚しています。母親がいます。現在、母親と1人の子供で暮らしています。		
一日の過ごし方: 朝5時に起きてから、家の清掃をします。それから、水浴び、朝ご飯をします。そして、身支度をし学校に通っています。授業が終わってから家に帰り、昼食をします。午後は家事をします。夕食は6時頃にします。夕食の後片付けをします。それから、本を読んだり、先生から出された宿題をしたりしています。そして、10時頃に寝ます。		
好きな遊び: 石蹴りをするのが、好きです。		
好きな食べ物: オレンジ (カンボジアの果物)		
将来の夢: 国語の先生です。		

備考: 兄は去年、結婚して他の所に住み込みました。姉は家族の生活を助けるために、工場です仕事をしています。それで、家に残っている人はボラー・スレイネアンちゃんと母親です。毎日、ボラー・スレイネアンちゃんは小学校の4年生として通っています。4年は一週間ごとに午前と午後の授業が変わります。母親は毎日、外で仕事をし、帰るのは夕方です。ボラー・スレイネアンちゃんは学校から戻ると、いつも、家事をしたり、母親のために、ご飯を作って、準備してあげるそうです。

担当者: メン・ソマリ



黒板で掛け算の計算式を解いているボラー・スレイネアンちゃんの写真です。

クメール教育里親基金活動レポート



高校を卒業するブラーク・ニエプ君 (右は母親)

貧しい境遇にあるカンボジアの子どもたちが学校へ行けるように、物心両面でサポートする「クメール教育里親基金」では、七月末日現在、三百七十一人の子どもたちを教育支援している。カンボジアの新学期は十月、八月から長い休みに入った。同基金が教育支援する子どもたちの中で、二人の高校生が卒業を迎える。その内の一人、ブラーク・ニエプ君 (フンセン・チュレイホープナヴ高校三年生) に会った。

ブラーク・ニエプ君は、小学生四年生の時から約九年間、教育里親 (鴻野博司さん・理事、石川県金沢市) から支援を受けてきた。里親さんからの支援がなかったら、恐らく小学校すら卒業できなかったであろう。

ブラーク・ニエプ君は今、母親、三人の兄弟と一緒に暮らしている。父親が亡くなった。家が苦しいので、高校卒業後は働くことにしたという。「日本の里親さんに、長い間支援してもらい卒業することができました。感謝しています」と話していた。

六月十三日、十九日、東京都練馬区役所のロビーで、区内NPO団体の活動を紹介します「NPOパネル展」が開催され、本会も出展しました。練馬区内には約二百のNPO法人があるが、そのうち十数団体が出展した。会報やチラシも配布し、有意義な広報活動だった。

カンボジア初的美術コンクールを開催

カンボジアの若い芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

絵画、デザイン、彫刻の分野があり、応募資格は三十歳以下。全国から百八十六人が作品を寄せた。「Lovely Cambodia (私の愛するカンボジア)」をテーマにした作品で、各部門で優秀作品が選ばれた。



カンボジアに関するニュースを紹介いたします。

カンボジアの若き芸術家を育てよう

カンボジアの若き芸術家を育てようとして、初めての美術コンクールが開かれた。王立芸術大学の主催。同大学客員教授で日本画家の山田隆量さんが呼びかけた。

絵画、デザイン、彫刻の分野があり、応募資格は三十歳以下。全国から百八十六人が作品を寄せた。「Lovely Cambodia (私の愛するカンボジア)」をテーマにした作品で、各部門で優秀作品が選ばれた。

カンボジア「暮らし向きが良い」二〇%

米 国の世論調査機関「ギャラップ」が発表した二〇一一年の世界生活幸福調査によると、カンボジアの調査対象者の七十二%が「生活に苦労している」、二十六%が「生活が苦しい」と答えた。「暮らし向きが良い」と答えた人は二%に過ぎず、調査対象百四十六カ国の中で最も低かった。

これは、収入などをもとにした生活実態の調査ではなく、各国の対象者千人の主観を三段階で尋ねた調査。

「暮らし向きが良い」と答えた人の割合が最も高いのはデンマークで七十四%。続いてカナダとオランダが六十六%、イスラエルが六十五%などと

「国際ソロプチミスト石巻」の皆さんがカンボジアに井戸を贈呈

国際ソロプチミスト石巻 (宮城県石巻市) の皆さんがこのほどカンボジアの小学校 (コンボンチャム県、ソーセン小学校・生徒数二百人) に井戸を寄贈してくれ、七月十二日、贈呈式が行なわれた。石巻市に住む宮川公子さん (里親会員) の仲介により、実現した。

東日本大震災では最も被害の大きかった石巻市だが、にもかかわらずカンボジアに目を向け、水不足に悩む子どもたちを救ってくださり、感謝。

カンボジアの成長をけん引している縫製業

同国の成長をけん引している縫製業が見込まれるために、やや精彩を欠く可能性があると理由だ。

だが、外国直接投資の増加が見込まれる建設業、引き続き好調な観光業を含むサービス業は、さらに伸びるとみられている。

また、農業セクターは、国を挙げてのコメ輸出政策を打ち出した成果が見えてきていると評価。二〇一三年の経済成長は七%と予測され、再び上昇傾向に戻るとしている。

カンボジアの成長をけん引している縫製業

同国の成長をけん引している縫製業が見込まれるために、やや精彩を欠く可能性があると理由だ。

だが、外国直接投資の増加が見込まれる建設業、引き続き好調な観光業を含むサービス業は、さらに伸びるとみられている。

また、農業セクターは、国を挙げてのコメ輸出政策を打ち出した成果が見えてきていると評価。二〇一三年の経済成長は七%と予測され、再び上昇傾向に戻るとしている。

神戸ユネスコ協会寄贈の新校舎で学ぶ子どもたち

神戸ユネスコ協会 (神戸市中央区楠町・加藤義雄会長) の資金協力により、五月に完成した「ストックアイトロミヤ小学校」 (コンボンチュナン県・生徒数約二百人) の新校舎では、生徒たちが熱心に勉強を始め、生徒たちは黒板を見ながら、国語の授業を受けていた。

カンボジアの成長をけん引している縫製業

同国の成長をけん引している縫製業が見込まれるために、やや精彩を欠く可能性があると理由だ。

だが、外国直接投資の増加が見込まれる建設業、引き続き好調な観光業を含むサービス業は、さらに伸びるとみられている。

また、農業セクターは、国を挙げてのコメ輸出政策を打ち出した成果が見えてきていると評価。二〇一三年の経済成長は七%と予測され、再び上昇傾向に戻るとしている。

カンボジアの成長をけん引している縫製業

同国の成長をけん引している縫製業が見込まれるために、やや精彩を欠く可能性があると理由だ。

だが、外国直接投資の増加が見込まれる建設業、引き続き好調な観光業を含むサービス業は、さらに伸びるとみられている。

また、農業セクターは、国を挙げてのコメ輸出政策を打ち出した成果が見えてきていると評価。二〇一三年の経済成長は七%と予測され、再び上昇傾向に戻るとしている。

私の戦争体験

20歳の私です 佃井庸八

本会の副理事長、佃井庸八さんは御年九十歳、年に三回実施される「カンボジアふれあいの旅」に参加するなど、今もなお現役で頑張っております。佃井さんから、戦争体験の原稿が届きましたので、しばらく連載いたします。国際協力の原稿ではありませんが、読者の皆様のお役に立てれば幸いです。

私は南方へ行くことが決まりました。これも運命の分かれ目です。北は玉砕したアッツ島などへの転属命令でした。第十四司令部へ転属が決まりました。最後の別れに父が面会にきてくれました。いつも小言ばかり言われてはめられたことなし、鬼のような父でしたが、これが今生の別れになるかもしれないと、男の涙を初めてみました。

初めは門司港を出帆、灯下管制下、まっ暗闇の中の出航でした。輸送船団三十隻、私の船には、四千名もの兵士が乗っていました。

途中、台湾に寄港しましたが、飛行機からの爆撃と潜水艦からの魚雷攻撃で、約半数の船が沈められました。

やがてフィリピンのマニラ湾に到着。軍用トラックに乗せられ、約二十キロ離れた飛行機の警備につきました。

陸地での戦いはほぼ終わっていました。が、治安はとも悪く、日本の兵隊を二人殺せば懸賞金がもらえるという噂が流れていました。

その後マニラを出て、ミンダナオ島サボンアンガに寄港しました。セブ島が近くにありましたが、一日ゆっくりと過ぎました。

再びマニラへ向かいましたが、湾の近くで敵の魚雷が船に当たり、海へ投げ出されました。かろうじて椰子の木片につかまり、漁船に助けられて、全身重油にまみれた姿で陸地に辿り着きました。

(群馬県桐生市・副理事長、里親会員) (つづく)

投稿

第三回卓球大会を終えて

三林けい子

七月十五日、夢ホームにて「第三回ニッタク夢ホーム地域卓球大会」を開催しました。今回から「地域」という名称を入れました。今まではホームの子どもたちだけの卓球大会でしたが、今回からチャイニョップ中学校生と、ブノンベンにある「愛センター」から選手を招待しました。いわゆるライバル登場です。



第3回ニッタク 夢ホーム地域卓球大会 協賛：東北福祉大学新潟県同窓会

ラタナー選手は大喜び。今回は優勝カップを旅に出すことになりましたが、次の第四回大会（3月開催）には優勝カップを奪回できるようにさらに子どもたちは卓球の練習に励むことになるでしょう。「開かれた地域の卓球大会」として今後も継続して開催していきたいと考えています。

トーイレの男女の図柄 神戸ユネスコ協会が寄贈した小学校の完成記念式典が終了した翌日五月十五日（十六日）に、二班に分かれてアンコールワット遺跡群とリゾルト地シハヌークヴィルで心身を癒した。

トーイレの男女の図柄

引き続き応援よろしくお願ひします。また、今回も日本卓球（ニッタク）様から卓球練習用具と大会参加賞及び記念品をご寄付いただきました。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。（「愛センター」：日本人渡辺愛さんが2005年に設立。ブノンベン郊外にあるフリースクール。英語や日本語などを現地スタッフ七名が無料で教えてくれる。子どもたちは百五十名登録して

トゥッサナー・カンボジア

*トゥッサナーとは観察するという意味です。



神戸ユネスコ協会が寄贈した小学校の完成記念式典が終了した翌日五月十五日（十六日）に、二班に分かれてアンコールワット遺跡群とリゾルト地シハヌークヴィルで心身を癒した。シハヌークヴィルではソカーホテルに滞在した。夕食でトーイレに行ってみると、男女の入り口の図柄が写真のようになっていた。男性はネクタイなどの理解できる。女性はハイヒールをぶら下げている？

今まで見たことのない図柄だった。日本ではまずないだろう。（理事・中野勝）

平成24年度 賞金・商品総額500万円+社長が気に入ればすぐ買い取ってくれる! 『東久邇宮記念会 全国発明大会& 全国ネーミング&キャラクターコンクール』

発明の部 生活雑貨や身の回り用品、介護グッズや子育てグッズまで、ありとあらゆる発明品を大募集! 「こんなものが欲しいのよ!」というものを、あなたが発明してみませんか? 予備審査・本選共に企業の肩が審査してくれてるので、入賞してもなくても、商品化されるチャンスがあります!

各賞・賞状・賞金 ◆東久邇宮記念大賞【第1位】賞金30万円+賞状+トロフィー ◆豊澤豊雄賞【第2位】賞金10万円+賞状+トロフィー ◆知的財産学校賞【第3位】賞金5万円+賞状+盾

紙の募金箱をお部屋に置いてください 本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。折りたたみができ簡単に送ることができますので、ご家庭やお部屋に一つ、貯金箱代わりに置いていただけませんか? 貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金ができます。

活動に参加しませんか ボランティアとして 学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか? 「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・学用品配布・アンコールワット観光など 第22回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

事務局便り 二〇〇六年に開設した関西支部ですが、このほどその役目を終え、八月末日をもち解散することになりました。支部長の中野理事はじめ、役員の中野理事、帝燃産業（株）の小松さんには大変お世話になりました。